Energia

報 道 資 料

平成18年1月31日
中国電力株式会社

上関原子力発電所建設に係わる詳細調査のうち ボーリング調査（海域）における掘削水の漏出について

上関原子力発電所（1，2号機）建設に係わる詳細調査のうち海域でのボーリング調査については，本年1月12日から再開したところであり，田ノ浦湾内（No.314）においては，漏水防止用コンクリート等に異常のないことを確認しながら海底面下約6mの砂層を掘進中でしたが，昨日の午後，ボーリング孔付近の海水が白濁していることが，水中カメラにより確認されました。

このため，ただちに作業を中断し，潜水士により詳細確認を行った結果，漏水防止用コンクリート設置位置近傍の海底から掘削水が漏出し，孔壁を安定させるために掘削水に添加していた「ベントナイト」（天然の粘土）がボーリング孔周辺の海底で直径約3mの円状に堆積していることが確認されました。今後，この漏水の原因について早急に究明することとしています。

なお，海底の堆積物については，殆どを昨日回収済であり，残りについても本日中に回収いたしました。

また，現在南側海域で掘進中のもう一箇所のボーリング（No.303）についても，このたびの漏水の原因が判明するまで掘進を中断しています。

以上

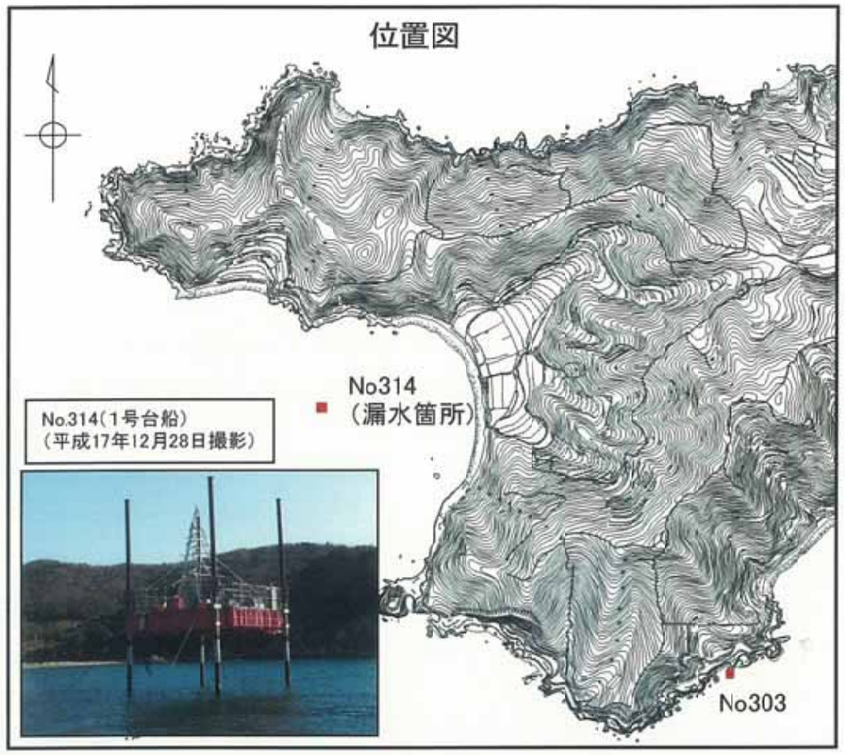
添付

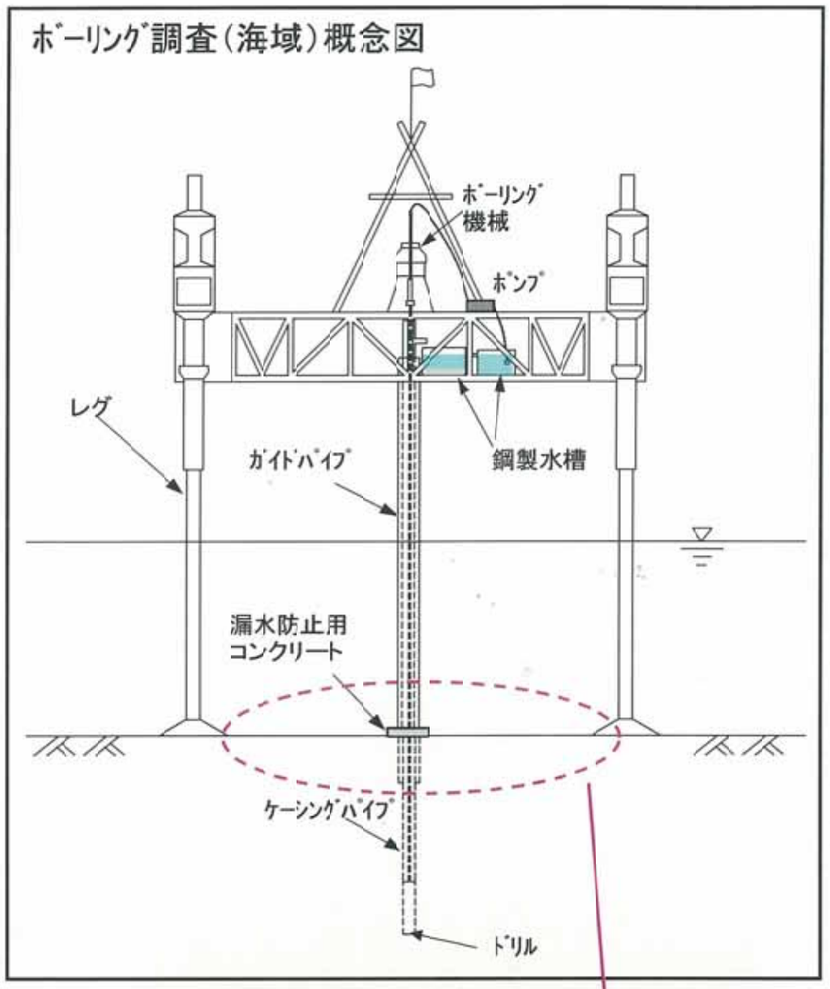
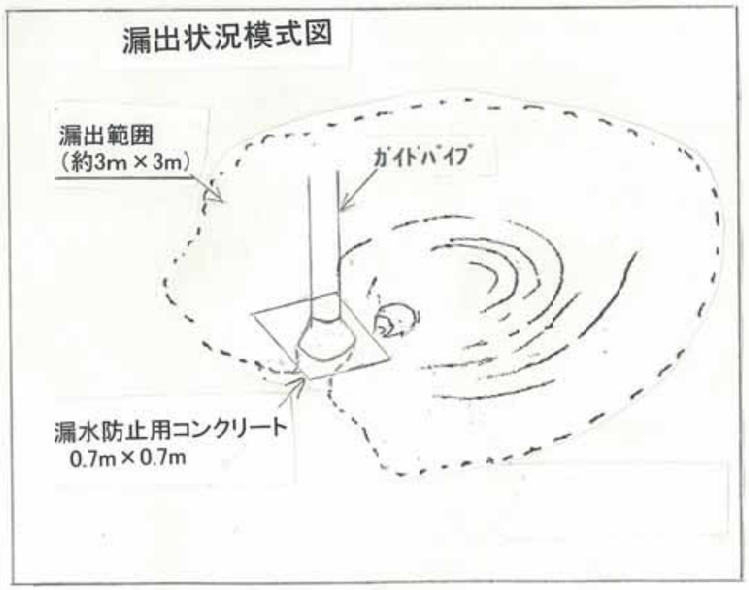
ボーリング調査（海域）における掘削水の漏出について [PDF：252KB]

関連リンク

- 原子力発電（環境@エネルギー）
- 上関原子力発電所（計画中）

ボーリング調査（海域）における掘削水の漏出について





漏出状況写真（H18.1.30撮影）